

保育園の自己評価を終えて

総合評価 A

自分たちが行っている保育を見直し、より良い保育実践ができるように、今年度も職員とともに自己評価を行いました。

経験が浅い保育士も多いため、主任・副主任が中心となり、会議やミーティング等で園の取り組み・評価の意義・目的を説明し、共通理解を深めていけるようにしていきました。

評価は全職員が集まることは難しい為、昨年度同様に小グループに分かれ複数回話し合いを持つ形で各グループから出た評価をまとめ園全体の評価としました。昨年度はグループによって評価にばらつきが出たため、今年度は冒頭でも記したよう年度当初から園の取り組み等を伝えてきたため、昨年よりは共通理解ができたように感じました。

また、質の維持・向上という点では、法人で作っている職位表に記載されたそれぞれの経験に応じた職責や職務内容を理解したうえで、個人目標シートに記載し、目標をもって職務にあたるようにしました。目標を立てた時点でその目標が法人の求めるものになっているのかを確認し、更に年度途中、年度末に達成度や振り返りを記入し、園長・主任と共に振り返りを行い、加筆修正しながらそれぞれの質の向上や全体の保育力向上につなげていけるようにしました。

なお、昨年度同様、非常勤職員にも積極的にキャリアアップ研修等受けてもらうことで全職員が意識と質の維持・向上に努めました。

保育は保育士だけではなく多様な職種や職務の職員が協働して行うものなので、個人以外にも各クラス目標、園目標を立てることで同じ思いで子どもたちに向き合っていくようにしました。

今後も保護者の皆様、職員、地域の方の協力を得ながら、子どもたちがより健やかで豊かに育っていけるような保育園の運営に努めていきたいと思えます。

令和7年2月6日

横浜みなとみらい保育園 園長 木下かおり